

土地政策研究会の進め方

不動産・建設経済局 土地政策課

- 土地政策の主題は、宅地の大量供給から、投機的取引・地価高騰対策、過剰利用の抑制、更には適正管理へと移ってきた。近年、土地の管理不全、放棄宅地化やこれに伴う外部不経済の発生等が、政策課題として顕在化してきている。
- しかしながら、空き家対策や所有者不明土地法制については、政策の進捗、制度の確立に関し一定の成果があるものの、空き地等の土地全般を対象とした具体的な施策・制度が課題に応じて十分講じられてきたとはいえない状況にある。
- また、これまでの宅地化を前提とした政策体系の下、土地は「宅地」が最終的な利用形態で、事実上不可逆的となっているが、土地の過少利用が課題となる中、政策転換が求められていると考えられる。
- こうした状況を踏まえ、利用可能性のある土地の活用方を追求しつつ、「非宅地化」や必ずしも利活用を目的としない最適な土地の在り方、そのために必要な地目等の転換の仕組み等も視野に、新たな政策体系の検討が必要である。
- このほか、土地の利用・管理・取引等に関する今日的な諸課題について、現在の社会情勢を基にしたふさわしい土地政策の在り方の検証についても射程に入れる必要がある。
- これらの検討の場として、有識者からなる土地政策研究会を立ち上げ、必要な検討テーマを随時取り上げ、議論する。

饗庭 伸	東京都立大学都市環境学部教授
浅見 泰司	東京大学大学院工学系研究科教授
沖野 眞巳	東京大学大学院法学政治学研究科教授
齊藤 広子	横浜市立大学国際教養学部教授
中川 雅之	日本大学経済学部教授
野澤 千絵	明治大学政治経済学部教授
広田 純一	岩手大学農学部名誉教授
水村 容子	東洋大学社会デザイン学部人間環境デザイン学科教授
山野目 章夫	早稲田大学大学院法務研究科教授、土地政策分科会長
涌井 史郎	東京都市大学環境学部特別教授

関係府省庁 (事務局及び オブザーバー)	国土交通省土地政策審議官G土地政策課 国土交通省大臣官房参事官(土地利用担当) 国土交通省土地政策審議官G地価調査課 国土交通省土地政策審議官G地籍整備課 国土交通省不動産・建設経済局情報活用推進課 国土交通省不動産・建設経済局不動産業課 国土交通省不動産・建設経済局不動産市場整備課 国土交通省都市局総務課 国土交通省住宅局住宅企画官 国土交通省住宅局住宅総合整備課 国土交通省総合政策局環境政策課 国土交通省国土交通政策研究所	総務省自治行政局地域自立応援課地域振興室 法務省民事局民事第二課 財務省理財局国有財産業務課 農林水産省経営局農地政策課 農林水産省農村振興局農村計画課 林野庁森林整備部森林利用課 環境省自然環境局自然環境計画課
----------------------------	--	--

- 地域の類型に応じた土地の利用・管理に関する今日的課題について
- これからの時代にふさわしい空き地等(※)の有効な活用・管理のあり方について
(防災・減災、健康・福祉、グリーンインフラ 等)
※ 現に何らの用途としても利用されていない又は放置されている土地のみならず、建築物や構造物が存在していても利用されていない土地等、その利活用や一定の管理、他の用途・地目への転換等が必要と考えられる土地を指す。以下同じ。
- 各地域のコミュニティ形成に資する空き地等活用の進め方について
(担い手、人材育成、地域プラン 等)
- 非宅地化を含む土地の最適利用・管理や土地利用転換を促す仕組みについて
(誘導策、区域の設定、支援機関、行政の関与、財源 等)
- 土地の流動化、土地取引の円滑化を促す方策について
- 上記に関連する、土地関連情報の整備・提供のあり方について
- 土地政策の実現に寄与するインセンティブ措置のあり方について

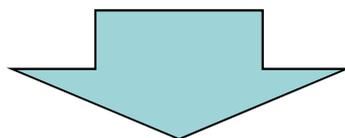
など

令和5年10月13日 【議題】 土地を巡る現状と課題

令和5年12月8日 【議題】 土地の有効な活用・管理のあり方

令和5年12月26日 【議題】 土地の管理等の担い手

令和6年1月～6月頃
(3回程度開催) 【議題】 土地利用転換の現状、課題、対策
土地の利活用と流通
土地の利用・管理・取引と情報基盤整備 等



令和6年6月頃

中間とりまとめ